



各位

平成 25 年 4 月 12 日

上場会社名 株式会社 リソー教育
 代表者 代表取締役会長兼社長 岩佐 実次
 (コード番号: 4714 東証第一部)
 問合せ先責任者 情報開示担当リーダー 澤井 豊
 情報開示担当リーダー 田中 文明
 (TEL 03-5996-3701)

平成 26 年 2 月期(第 29 期)予想配当金に関するお知らせ

— 過去最高額更新 —

平成 26 年 2 月期(第 29 期)における 1 株当たり予想配当金を、下記の通りといたしましたのでお知らせいたします。

記

第 29 期以降は、既存事業(TOMAS・伸芽会・名門会)の成長に加え、新規事業の本格的な収益貢献により大幅な売上増・利益増(29 期・30 期)を見込んでおります。また 28 期・29 期と 2 年にわたり進めてきた財務基盤強化・自己資本充実策の成果から、平成 26 年 2 月期(第 29 期)の予想配当金は **前年比較 30 円増の 360 円(うち特別配当 30 円)** と **過去最高額を更新**いたしました。

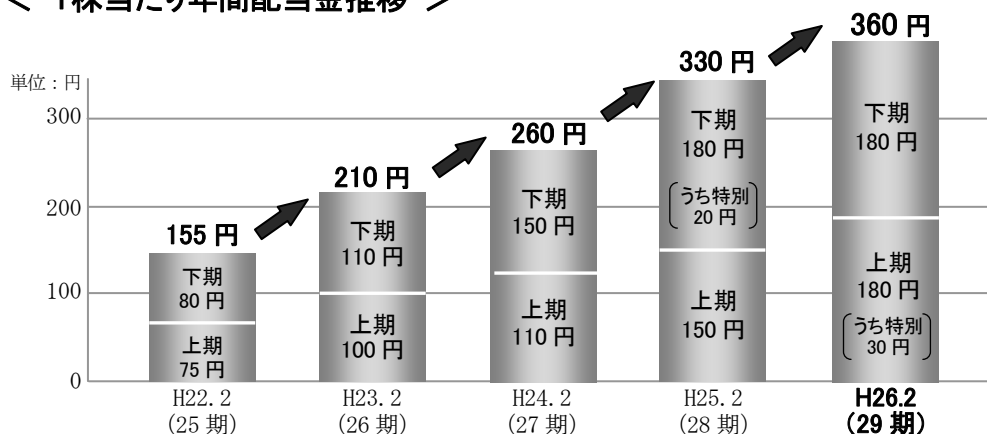
財務基盤の強化と自己資本の充実については、28 期にドイツ銀行との T I P 契約等による自己株式処分の結果、**約 18 億円の現金化、自己株式処分差益約 3 億円(一部 28 期配当として株主還元)の株主配当の原資となる剰余金への計上**により財務基盤の強化と自己資本の充実を図ることができました。

29 期も既に自己株式処分による**約 17 億円の現金化、自己株式処分差益約 6 億円の計上**が済みしております。さらに 4 月以降も残り 15 万株の自己株式処分による**約 13 億円(予定)の現金化、自己株式処分差益約 6 億円(予定)の計上**を見込んでおりますので、**28 期・29 期トータルで約 48 億円(予定)の現金化、自己株式処分差益約 15 億円(予定)の計上**となる見込みです。

こうした財務基盤強化・自己資本充実策の成果から、配当原資も増加してまいりましたので、期中において**これ以上のさらなる増配**ができるよう邁進する所存です。

	年間配当金				合計
	第 1 四半期末	第 2 四半期末(上期)	第 3 四半期末	期末(下期)	
平成 25 年 2 月期(第 28 期)実績	円 銭 —	円 銭 150.00	円 銭 —	円 銭 180.00 (うち特別配当 20 円)	円 銭 330.00 (うち特別配当 20 円)
平成 26 年 2 月期(第 29 期)予想	円 銭 —	円 銭 180.00 〔普通配当 150.00〕 〔特別配当 30.00〕	円 銭 —	円 銭 180.00 〔普通配当 180.00〕 〔特別配当 —〕	円 銭 360.00

< 1 株当たり年間配当金推移 >



以上